

*The Japanese
Society of
Toxicology*

**Vol. 44 No. 3
June 2019**

毒性学ニュース

Toxicology News

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

毒性学ニュース

Contents

日本毒性学会からのお知らせ

2019年度年会費の納入のお願い	29
社員総会開催のご案内と電磁的総会出欠（委任状）回答システムへのご登録のお願い	33
第22回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験	34
日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書	36
認定試験受験資格のための評点表	38
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第4報）	40
第22回日本毒性学会基礎教育講習会日程	44
第46回日本毒性学会学術年会のご案内（第6報）	45
第45回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	48

その他のお知らせ

第59回日本臨床化学会年次学術集会	49
-------------------------	----

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

2019 年度年会費の納入のお願い

日本毒性学会定款第 11 条（会費）に基づき、2019 年度の会費の納入を受け付けております。会費は日本毒性学会の運営・活動の原資となりますので、年会費の納入をお願いいたします。

本年 3 月に一斉メールでお知らせいたしましたとおり、評議員および一般・学生会員は会員専用マイページにログインし、会費納入状況のページより年会費のクレジットカード決済を行うことが可能となっております。

2018 年度以前の未払いの年会費についても、同様の手続きでクレジットカード決済が可能です。

ログイン URL : <https://area31.smp.ne.jp/area/p/mdkj9lftes8mjct9/g7DahB/login.html>

操作詳細は次ページをご参照ください。

なお、従来どおり郵便振込による会費納入も可能です。

振込先口座情報もマイページの会費納入状況のページ画面にてご案内いたしておりますので、そちらをご参照ください。

5 月末日までにクレジットカードか郵便振込による会費納入が確認できなかった会員宛には、6 月以降、郵便振込用紙を順次郵送します。

どうぞよろしくご願ひ申し上げます。

一般社団法人日本毒性学会
 理事長 熊谷 嘉人
 総務委員長 広瀬 明彦

マイページからのクレジット決済方法

マイページにログインし、「会費納入状況」をクリックします。

The screenshot shows the 'マイページ' (My Page) interface. At the top, there are navigation links: Home, お知らせ (Notice), 会員情報閲覧・変更 (View/Change Member Information), 会費納入状況 (Membership Fee Payment Status), and パスワード変更 (Change Password). A user menu on the left shows the member ID (99999) and name (山田 太郎). The main content area contains several buttons: お知らせ (Notice), 会費納入状況 (Membership Fee Payment Status), 退会届出 (Resignation), 会員情報閲覧・変更 (View/Change Member Information), and パスワード変更 (Change Password). A green callout box points to the '会費納入状況' button with the text: 「会費納入状況」をクリックします。

「会費納入状況」画面が開きます。

The screenshot shows the '会費納入状況' (Membership Fee Payment Status) page. At the top, there are navigation links: Home, お知らせ (Notice), 会員情報閲覧・変更 (View/Change Member Information), 会費納入状況 (Membership Fee Payment Status), and パスワード変更 (Change Password). The main content area displays a table of payment details:

会費未納額合計		¥ 7000		
前受金合計		¥ 0		
入会金請求額	-	入会金入金額	-	
2017年度会費請求額	¥ 7000	2017年度入金額	¥ 0	請求書
2016年度会費請求額	¥ 7000	2016年度入金額	¥ 7000	領収書
2015年度会費請求額	¥ 7000	2015年度入金額	¥ 7000	領収書
2014年度会費請求額	¥ 7000	2014年度入金額	¥ 7000	領収書
2013年度会費請求額	¥ 7000	2013年度入金額	¥ 7000	領収書

※本システムで表示できるのは、直近5年分の納入状況のみです。
 ※会員のお振込みから納入状況の反映までは、10日程度お時間をいただく場合があります。

【会費のお支払いについて】
 クレジット決済の場合
 下記のボタンをクリックしてください。
[クレジット決済へ](#)

会費の未納分をクレジット決済する場合は、こちらをクリックしてください

クレジット決済のお手続きにはVISAまたはMASTERカードをご用意ください。
 クレジット決済の詳しい支払方法は[こちら](#)をご確認ください。
 クレジット決済に関する特定商取引法に基づく表示については[こちら](#)

クレジット決済会社の決済用ページが開きます。
 カード番号等を入力し、「お申し込み内容確認」ボタンをクリックします。

クレジットカード決済お申し込み
 サイト名 一般社団法人日本毒性学会

お申し込みになる場合は、以下の項目をすべてご入力いただき「お申し込み内容確認」ボタンを押してください。

ご利用内容	
ご利用金額	¥7,000
ご利用代金の請求名	一般社団法人日本毒性学会

クレジットカード決済申し込みフォーム

電話番号	<input type="text"/> (例) 0001234567 【半角】 【ハイフンなし】
メールアドレス	<input type="text"/> (例) zeus@example.jp 【半角】
カード名義	<input type="text"/> (例) TARO YAMADA 【半角】 <small>カード上の名前と申込者名が一致しない場合、クレジットカード使用停止などの処分が課せられる場合があります。</small>
カード番号	<input type="text"/> (例) 1234567891234567 【半角】 【ハイフンなし】
カード有効期限	<input type="text"/> 月 / <input type="text"/> 20 <input type="text"/> 年 (例) 12 月 / 2010 年
セキュリティコード	<input type="text"/> (例) 999 【半角】 <small>セキュリティコードとは？ クレジットカードの裏面に記載されている3桁または、表面に記載されている4桁の番号です。</small>

※下記「個人情報の取扱いについて」にご同意いただける場合は、「お申し込み内容確認」を押してください。

内容ご確認後、「お申し込み」ボタンをクリックします。

クレジットカード決済お申し込み
 サイト名 一般社団法人日本毒性学会

ご利用内容	
ご利用金額	¥7,000
ご利用代金の請求名	一般社団法人日本毒性学会

クレジットカード決済申し込みフォーム

電話番号	●●●●●●●●
メールアドレス	●●●●●●●●●●●●●●●●●●
カード名義	●●●
カード番号	●●●●●●●●●●●●●●●●
カード有効期限	●● / ●● 20●● 年
セキュリティコード	●●●

※「お申し込み」ボタンを1度だけ押してください。10秒前後でページが更新されます。

決済が完了いたします。また、入力したメールアドレスに決済完了メールが届きます。

クレジットカード決済お申し込み
サイト名 一般社団法人日本毒性学会

決済が完了しました。
ご利用ありがとうございました。

[トップページ](#)

社員総会開催のご案内と電磁的総会出欠（委任状） 回答システムへのご登録のお願い

一般社団法人 日本毒性学会
社員（一般会員及び学生会員）各位

平素より日本毒性学会の活動、運営にご協力を賜り御礼申し上げます。

定款第4章に定められておりますように「社員総会」を、以下の要領で学術年会期間中に開催いたします。ご承知のとおり、本学会は2014年5月1日に一般社団法人となり、重要な案件は社員総会で決定されます。社員（一般会員及び学生会員）各位におかれましては、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

※本年4月にメールにてお知らせ致しましたとおり、ご出席・ご欠席に係わらず「出欠票（委任状）」を、「電磁的総会出欠（委任状）回答システム」により、2019年6月10日（月）までにご提出下さい。提出方法は、下記、登録方法をご覧ください。

【電磁的総会出欠（委任状）回答システム 登録方法】

- 1) 下記 URL から、会員番号とパスワードを入力し、マイページにログインしてください。
<https://area3l.smp.ne.jp/area/p/mdkj9lftes8mjqt9/g7DahB/login.html>
- 2) マイページのトップに、電磁的総会出欠（委任状）回答ページへのナビメッセージが表示されています。
- 3) ナビメッセージをクリックすると、出欠回答入力ページへ遷移します。
- 4) 「出席する」または「出席しない」を選択してください。
- 5) 「出席しない」を選択した場合、委任状入力フォームが表示されます。必要事項を入力し、「送信」をクリックしてください。

記

2019年度 一般社団法人日本毒性学会 社員総会
日 時：2019年6月27日（木）午後1時30分～同3時00分
場 所：第46回日本毒性学会学術年会 第1会場（アスティとくしま）
議 案：1. 2018年度事業報告および収支決算
2. 2019年度事業計画および収支予算
3. その他

以上

社員総会の決議には、定款第24条に定められておりますように、総社員（一般会員及び学生会員）の議決権の「過半数」を有する社員の出席が必要です。定足数に満たない場合は社員総会として成立しなくなり、重要な議決事項が決定できず、本学会の運営に大きな支障を来すことになります。社員総会に欠席される場合には、必ず委任状をご提出されますよう、重ねてお願い申し上げます。

また、お近くの会員の方に、社員総会へのご参加または委任状の提出をお勧めくださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2019年6月
一般社団法人日本毒性学会
理事長 熊谷 嘉人

第22回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験

日本毒性学会

教育委員会委員長

鈴木 睦

認定試験小委員会委員長

古川 賢

下記の要領で認定試験を実施いたします。

受験希望者は毒性学ニュースまたは学会ホームページに掲載の「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」を熟読の上、出願して下さい。

出願時に提出された書類に基づく書類審査で上記規程に記載されている一定の基準に達しない場合は、認定試験を受けることができませんので出願に際してはこの点に十分に気をつけて下さい。

書類審査で受験資格が認められた場合、試験日の10日前までに受験票をご本人宛送付いたします。試験当日は必ず受験票を持参して下さい。

日本語・英語のいずれか言語での受験になります。英語受験を希望する場合は願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

1. 日 時

2019年10月6日(日)(9:45～17:00 予定)

2. 会 場

昭和大学 旗の台キャンパス

4号館6階600号教室(予定)

(東京都品川区旗の台1-5-8)

* 東急池上線・大井町線

旗の台駅東口下車 徒歩5分

3. 出願期間

2019年7月1日(月)～8月16日(金)(必着)

4. 出願書類

1) 願書と受験者確認票

2) 写真2枚(縦3.5cm×横3cm)

※6ヶ月以内のもの

(願書と受験者確認票の所定欄に貼付)

3) 認定試験受験資格のための評点表および証明資料
出願時には次のことにご注意下さい。

・会員歴：出願時にJSOTの会員であること

・研究歴

詳細は「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」をご覧ください。

出願書類は記録の残るもの(書留、信書便等)でお送り下さい。

5. 受験料

30,000円(下記の郵便振替口座にお振込の上、

払込票のコピーを出願書類に同封下さい)

郵便振替口座番号：00150-9-426831

加入者名：一般社団法人日本毒性学会

※領収書につきましては振込時の振替払込請求書兼受領証にかえさせていただきます。

(通信欄に会員番号を明記下さい)

※出願が受理されますと受験料は認定試験を受験しなくても返還できませんので注意ください。

6. 出願書類送付先・問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局

認定試験小委員会

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル

(株) 毎日学術フォーラム内

TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555

E-mail: jsot@jsot.jp

切 り 取 り 線

第22回日本毒性学会 認定トキシコロジスト認定試験受験者確認票

写真貼付欄

※6ヶ月以内のもの

受験番号

氏 名

(氏名をご記入下さい)

日本語受験 英語受験 (希望する方に✓を入れてください)

Application Form Guidance Notes about the 22th Certification Examination for Diplomate of the JSOT

The Japanese Society of Toxicology (JSOT)
 Chair of Education Committee: **Mutsumi Suzuki**
 Chair of Certification Examination Subcommittee: **Satoshi Furukawa**

We would like to inform you that the 22th certification examination for the diplomate of the JSOT will be conducted in the following manner:

Applicants are requested to submit application documents after careful reading of "Regulations on the Certification Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT)" presented in Toxicology News or on the homepage of the society.

If you do not reach the prescribed level at the screening of application documents shown in the above regulations, you cannot take the certification examination. Therefore, please take a great care for applying.

When you are qualified for the certification examination, we will send you an admission ticket no later than 10 days prior to the examination. You must bring the admission ticket to the examination.

You can take the certification examination in English from this time. If you want to do so, please check the box of requesting the examination in English in the application form.

1. Date of the examination

October 6, 2019 (Sunday), 9 : 45 to 17 : 00

2. Venue of the examination

Hatanodai Campus of Showa University
 (1-5-8 Hatanodai, Shinagawa-ku, Tokyo)

* Take Tokyu Ikegami Line or Oimachi Line, then get off at East Exit of Hatanodai Station and walk for 5 minutes.

3. Application period

Open from July 1 (Monday), no later than August 16 (Friday), 2019

4. Application documents

1) Application form and examinee's identification form

2) 2 face photos* (3.5 cm height × 3 cm width)

(To be pasted to the appropriate spaces of the application form and examinee's identification form.) *Within 6 months

3) Score table of eligibility for admission to certification examination and data to prove confidence of self-rated scores

Please make sure the following when you apply for the examination:

- Member history: applicants must be JSOT members at the time of application
- Research history

Detailed information is provided in the Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT). You are expected to send application documents by a method that keeps a historical record (registered mail, confidential correspondence delivery, etc.).

5. Examination fee

¥ 30,000

Please pay money into the following postal transfer account and enclose a copy of the Payment Slip with the application documents:

Postal Transfer Account No.: 00150-9-426831

Subscriber's name: The Japanese Society of Toxicology

* Transfer Payment Invoice and Receipt will be used as a receipt of the examination fee.

(Please write Membership No. in the message column of the Payment Slip.)

Examination fee is non-refundable whether you take the examination or not, as long as the application is accepted.

6. Address for application submission

Certification Examination Subcommittee
 Bureau of The Japanese Society of Toxicology
 in Mainichi Academic Forum Inc.

Palace Side Building, 1-1-1, Hitotsubashi, Chiyoda-ku,
 Tokyo 100-0003, Japan

Phone: +81-3-6267-4550 Fax: +81-3-6267-4555

E-mail: jsotthq@jsot.jp

C u t o f f l i n e

Examinee's Identification Form for the 22th Certification Examination for Diplomate of the JSOT

Please paste your
 recent face photo
 within 6 months

Examinee's No. _____

Name _____

(Please fill-in your name)

Examination in: English Japanese

(Please check the language in which you want to take the exam)

日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書

年 月 日提出

ふりがな
氏名：

会員番号：

生年月日： 西暦 年 月 日 (歳)

所属機関：

職名：

学歴：

高等学校卒業 短期大学等卒業 4年制大学等卒業 6年制大学等卒業

(該当する□にチェック)

写真貼付欄
※6ヶ月以内に
撮影したもの

卒業年	学校名および学部学科等
西暦 年 月	
西暦 年 月	
西暦 年 月	
卒業後 年 カ月	注：大学院を含まない

毒性学関連の職歴および大学院等における毒性学関連の研究期間：

期間 (西暦)	年数	職歴 (企業名), 大学院等
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
通算 年 カ月	注：修学期間, 就業期間および研究実績期間の重複は多重に計上しない	

*受験する言語の選択： 日本語版 英語版

*受験票送付先： 所属機関 自宅

〒

住所：

電話：

FAX：

E-mail：

(お持ちの方は必ずご記入下さい)

*緊急連絡先：

Application Form for Certification Examination for Diplomate of the JSOT

Date submitted: / / (MMM/DD/YYYY)

Name: _____

Membership No. : _____

Date of birth: / / (MMM/DD/YYYY) (years old)

Affiliated institution: _____

Job title: _____

Education: (Graduated from the following:)

High school Junior college 4-Year university 6-Year university

(Please check the appropriate box.)

Please paste your recent face photo within 6 months.

Year of graduation	Names of the school, faculty, department, etc.
/ (MMM/YYYY)	
/ (MMM/YYYY)	
/ (MMM/YYYY)	
year(s) and month(s) after graduation	Note: Please do not include graduate school

Toxicology-related work experiences and research periods at graduate schools, etc.:

Period	Duration	Work experience, graduate schools, etc.
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
Total: year(s) and month(s)	Note: Please avoid overlap among each period.	

* **Do you want to take the examination in English or Japanese?** English Japanese

* Preferred address to send the examination authorization slip: Affiliated institution Home

Zip code:

Address:

Phone:

Fax:

E-mail:

* Emergency contact details:

認定試験受験資格のための評点表

「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」の付表（脚注に注意）を参考に自己採点の上、下表（評点表）の該当箇所に評点を記入して下さい。

なお、下表中の論文についてはそのコピーを、学会等参加については参加証のコピーを、学会等発表については学会開催年を付記した講演要旨のコピーを、また、講習会については参加証のコピーを、それぞれ証明資料として添付して下さい。

（評点表にも忘れずに氏名と所属機関をご記入下さい）

氏名：

所属機関：

種別	評点項目	評点
論文	毒性学関連論文 ^{1), 2)}	
学会活動	JSOT 学術年会	発表 ¹⁾
		参加
	毒性学に関連する学会 ³⁾ の学術年会	発表 ¹⁾
		参加
講習会等	基礎教育講習会	
	JSOT 主催・公認講習会 ⁴⁾	
合計		

1) 筆頭著者もしくは責任著者（corresponding author）については10点、それ以外の共同発表の場合は5点とする。

2) レフリー制度が整っている学術誌に限る。

3) IUTOX 定期総会（ICT）、ASIATOX 定期総会、SOT 年会、EUROTOX 年会、日本安全性薬理研究会、日本衛生学会、日本環境変異原学会、日本産業衛生学会、日本獣医学会、日本実験動物学会、日本製薬医学会、日本先天異常学会、日本中毒学会、日本毒性病理学会、日本内分泌攪乱化学物質学会、日本免疫毒性学会、日本薬学会、日本薬物動態学会、日本薬理学会、JSOT に設置された部会の学術集会

4) JSOT 生涯教育講習会等

Score Sheet of Eligibility for Admission to the Certification Examination

Please make sure that your total score is over 80, using following score sheet. Please refer to the appendix of “Regulations on the Certification Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT)”, which is also described in the footnotes.

Please attach evidence of each category score: articles; photocopies of certificates for attendance to academic conferences, educational lecture, etc.; and photocopies of abstract for presentations (please add holding years of the conferences).

Please do not forget to write your name and affiliated institute below in this sheet.

Name:

Affiliated institute:

Category	Scoring item	Score
Article	Toxicology-related articles ^{1), 2)}	
Academic activity	JSOT annual meeting	Presentation ¹⁾
		Participation
	Annual meeting of toxicology-related academic society ³⁾	Presentation ¹⁾
		Participation
Educational lecture, etc.	JSOT fundamental education course	
	Lecture, etc. sponsored or authorized by JSOT ⁴⁾	
Total		

1) Ten points awarded for the first author or corresponding author, and 5 points for authors of joint publications.

2) Journals should be limited to those having a peer-review system.

3) IUTOX International Congress of Toxicology (ICT), ASIATOX regular general meeting, SOT annual meeting, EUROTOX annual meeting, Congresses of Japanese Safety Pharmacology Society, The Japanese Society for Hygiene, The Japanese Environmental Mutagen Society, Japan Society for Occupational Health, The Japanese Society of Veterinary Science, Japanese Association for Laboratory Animal Science, The Japanese Association of Pharmaceutical Medicine, The Japanese Teratology Society, Japanese Society for Clinical Toxicology, Japanese Society of Toxicologic Pathology, Japan Society of Endocrine Disruptors Research, The Japanese Society of Immunotoxicology, The Pharmaceutical Society of Japan, The Japanese Society for the Study of Xenobiotics, The Japanese Pharmacological Society, and Scientific meeting organized by JSOT subcommittee

4) JSOT continuing education course, etc.

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第4報）

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒性学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会として、幅広い領域にまたがるトキシコロジーに関する基礎知識を体系的に集中学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとしての多領域にわたる知識をブラッシュアップしながら新たな技術、課題などをインプットする生涯教育講習会を開催いたします。

〔第20回日本毒性学会生涯教育講習会〕

本講習会では、学習フレームを、①トピック、②トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーとして実施しております。是非、積極的なご参加をお待ちしております。

トピックは、SOTの学術年会時に開催される教育コースから、2つのテーマを選び、新しい科学及び技術に関する最新のトピックスを学習する場としていきます。トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーは、毒性学をより深く理解・学習する場として、必ずしも毒性学のみにとどまらず、毒性学周辺領域でのトピックや臨床現場及び環境における課題などからテーマを選定し、通常の自らの研究や仕事領域からだけでは得られにくい話題をフォローし学習する場としていきます。また、学習テーマに関連する共通知識として「非病理学者のための病理学講義」をセミナーに組み入れていきます。

講習会資料はダウンロード形式としております。受講者の皆様には6月中旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日時

2019年6月29日（土）

2. 会場

あわぎんホール 4F 大会議室

3. プログラム

- 1) SOT2019 報告：Continuing Education Course
の話題をもとに

1-1 9:00～9:45

岸田 知行 先生（キッセイ薬品工業株式会社）
Role of Toxicokinetics in Human Health
Safety Assessments

1-2 9:45～10:30

田村 明敏 先生（大日本住友製薬株式会社）
Conducting Systematic Review in Toxicology
—Why, When, How?

（休憩 10:30～10:40）

2) トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー：
“臓器間ネットワーク～内分泌系などを中心として”

2-1 10:40～11:30

佐藤 匠徳 先生
（株式会社 国際電気通信基礎技術研究所）
「Virtual Human InformatiX Project: ヒト生体
5次元情報ネットワークの解説から拓ける世界」

2-2 11:30～12:20

大月 道夫 先生（大阪大学）
「薬剤による内分泌障害の現状と課題－免疫
チェックポイント阻害薬を中心に－」

（昼休憩 12:20～13:30）

2-3 13:30～14:20

野見山 桂 先生（愛媛大学）
「野生動物における有機ハロゲン化合物の代謝・
動態と甲状腺ホルモンへの影響」

2-4 14:20～15:20

村上 雄一 先生（田辺三菱製薬株式会社）
「非病理学者のための病理講義－内分泌毒性：
他臓器相関を含めた毒性病理変化－」

4. 参加申込および参加費

事前申込期間は終了いたしました。当日参加申込
の場合は、当日の受付にてお申込下さい。

当日申込参加費

会 員	7,000 円
非会員	10,000 円
認定トキシコロジスト	5,000 円

5. 問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局
〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル
(株) 毎日学術フォーラム内
TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555
E-mail: jsotq@jsot.jp

〔第22回日本毒性学会基礎教育講習会〕

本講習会はトキシコロジストの系統的な基礎教育あるいは再教育を目的とし、トキシコロジー [第3版] (朝倉書店, 2018年3月刊) をベースとしたテキストを用いる3日間の集中講義です。また、10月の日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験を受験される方には、トキシコロジー全般にわたる理解を深め受験に備える貴重な機会です。3日間をかけて各専門分野の先生方に講義していただきます (44ページ参照)。

尚、本講習会を受講されますと認定試験受験資格のための評点40点が付与されます。また、認定トキシコロジスト資格更新の際の評点獲得の対象にもなります。

本年より講習会資料はダウンロード形式といたします。受講者の皆様には7月中旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日時

2019年8月5日(月)～7日(水)

2. 会場

星薬科大学 百年記念館 C21・C22

3. 募集人数

150名(先着順)

4. 申込

1) 申込期間

2019年6月3日(月)～7月5日(金)

*会場に余裕がある場合に限り当日参加を受け付けますが、できるだけ事前申込をお願いします。

2) 申込方法

当学会ホームページよりお申込下さい。

登録後、5日以内に次項の要領で受講料を納入下さい。

受講料入金の確認後、追って受講案内及び資料をお送りします。

3) 納入方法

ホームページよりお申込の上、下記銀行口座へお振込み下さい。

銀行 : みずほ銀行
支店 : 麹町支店 (021)
口座番号 : 普通 1348658

口座名義 : 一般社団法人日本毒性学会

*振込手数料はご負担ください。

*ご所属名でお振込みの際は、事務局までメールで受講者氏名(会員の方は会員番号)、所属、振込日、振込金額をご連絡下さい。

4) 受講料

一般会員	25,000円
学生会員	5,000円
非会員	30,000円
学生非会員	8,000円
認定トキシコロジスト	20,000円 (2～3日受講) 10,000円 (1日受講)

*交流会(1日目開催)の費用は受講料に含まれます。

*領収書につきましては、参加証と一緒に送付いたします。宛名のご指定がある場合は、申込時に入力下さい。

*キャンセルに伴う返金に関しては、講習会資料事前案内前に限り、対応します。事務局から案内後は納入済み受講料の返金は原則としていたしませんのでご了承下さい。

5. その他

*昼食は各自ご用意下さい。講義室内での飲食は可能です。

*講習会場には電源のご用意がございませんので、講義中コンピューター類をご使用の場合は、各自でご対応をお願いいたします。

*受講修了者には受講証明書を発行します。また、学生受講者(大学院生を含む)は出欠を確認したうえで受講認定証を発行いたします。

〔第22回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験〕

我が国の安全性試験の科学水準及び信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため、質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については、毒性学ニュース、学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。

日本語・英語いずれかの受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

1. 日 時

2019年10月6日(日)

2. 会 場

昭和大学 旗の台キャンパス(予定)

3. 出願期間

2019年7月1日(月)～8月16日(金)(必着)

4. 出願書類

- 1) 願書と受験者確認票
- 2) 写真 2枚(縦3.5cm×横3cm)※6ヶ月以内(願書と受験者確認票の所定欄に貼付)
- 3) 認定試験受験資格のための評点表および証明資料

出願時には次のことにご注意下さい。

- ・会員歴：出願時にJSOTの会員であること
- ・研究歴

詳細は「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」をご覧ください。出願書類は記録の残るもの(書留、信書便等)でお送り下さい。

出願書類フォームは、学会ホームページおよび本誌に掲載しております。(36ページ参照)。

5. 受験料

30,000円(下記の郵便振替口座にお振込の上、払込票のコピーを出願書類に同封下さい)

郵便振替口座番号：00150-9-426831

加入者名：一般社団法人日本毒性学会

(通信欄に会員番号を明記下さい)

6. 出願書類送付先・問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局

認定試験小委員会

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム内

TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555

E-mail: jsotq@jsot.jp

「認定トキシコロジスト資格の更新」

1999年、2004年、2009年、2014年に認定トキシコロジストに認定された方(認定トキシコロジストNo.149～170, 262～303, 416～457, 553～576)は2019年が資格更新の時期となります。更新手続きの詳細は、対象者宛に2019年7月頃に郵送いたしますのでご確認ください。毒性学ニュース、学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定資格更新に関する細則』をご覧ください。

「日本毒性学会認定トキシコロジスト総会」

6月にアスティとくしまで開催予定の第46回日本毒性学会学術年會会期中に、認定トキシコロジストおよび名誉トキシコロジストを対象とした認定トキシコロジスト総会を企画しております。総会には多くの先生方が参加されますので、今後の毒性学の方向性、研究等様々な意見交換の場として有効利用していただければと考えております。先生方の積極的なご参加をお待ちしております。

1. 日 時

2019年6月26日(水)

19:00～21:00(18:30より受付開始)

※開始時刻が変更になりました。

2. 会 場

ザ・グランドパレス

3階 グランドルーム(予定)

<https://www.gphotel.jp/#access>

※学術年會会場よりマイクロバス2台で会場までご案内いたします。

マイクロバス(第一便:18:00発, 第二便:18:15発)

をご利用の方は、1Fエントランスを出て左手すぐの「事務所前駐車場」にお越しください。

3. 式次第

- 1) 認定トキシコロジスト総会
- 2) 新規名誉トキシコロジスト表彰式
- 3) 認定トキシコロジスト懇親会

4. 会 費

認定トキシコロジスト：事前3,000円(当日4,000円)

名誉トキシコロジスト：事前3,000円(当日4,000円)

2019年度新規名誉トキシコロジスト：無料

(該当の方には別途ご案内させていただきます)

参加者数により、当日入場を制限させていただく
 がございます。事前申込にご協力よろしくお
 願いいたします。

事前申込期間：2019年4月1日（月）
 ～6月14日（金）

5. 申込方法

参加希望の方は日本毒性学会事務局（jsothq@jsot.jp）まで電子メールにてお申込み（お名前、日本毒性学会会員番号、認定トキシコロジスト総会参加旨記載）の上、下記振込先までお振込みをお願いいたします。

郵便局に備え付けの郵便振替用紙をご利用いただくか、インターネットバンキング等をご利用ください。

インターネットバンキングにてお振込みの際には、振込人名義を会員番号、フルネーム（個人名）、"DJSOT ソウカイサンカヒ"と記載願います。

例：99999 ドクセイ タロウ DJSOT ソウカイサンカヒ

振込先

〈振替用紙・ゆうちょ銀行から〉

郵便振替口座：00150-9-426831

加入者名：一般社団法人日本毒性学会

〈他行から〉

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：019

預金種目：当座

店名：〇一九店（ゼロイチキョウ店）

口座番号：0426831

第22回日本毒性学会基礎教育講習会日程

(場所：星薬科大学)

月 日	#	時 間	学 科 目	講 師
8月5日 (月)		09:00 - 09:10	オリエンテーション	基礎講習会小委員会 委員長
	1-1 (1:15)	09:10 - 10:25	毒性学とは	和久井 信 講師 (麻布大学 獣医学部)
	1-2 (1:30)	10:35 - 12:05	毒性発現機序	吉成 浩一 講師 (静岡県立大学 薬学部)
	1-3 (2:00)	13:00 - 15:00	動態・代謝	小澤 正吾 講師 (岩手医科大学 薬学部)
	1-4 (0:45)	15:10 - 15:55	一般毒性試験, 実験動物	大久保 慎吾 講師 (武田薬品工業)
	1-5 (0:45)	16:05 - 16:50	血液毒性	平林 容子 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター)
	1-6 (0:45)	17:00 - 17:45	免疫毒性	中村 和市 講師 (北里大学 獣医学部)
		18:00 - 19:30	交流会	
8月6日 (火)	2-1 (1:30)	09:00 - 10:30	消化器毒性, 肝毒性	中野(伊藤) 今日子 講師 (エーザイ 安全性研究部)
	2-2 (1:00)	10:40 - 11:40	腎・泌尿器毒性	村上 雄一 講師 (田辺三菱製薬 安全性研究所)
	2-3 (1:00)	11:50 - 12:50	呼吸器毒性	佐藤 洋 講師 (岩手大学 農学部)
	2-4 (1:00)	13:35 - 14:35	神経行動毒性, 運動器毒性, 感覚器毒性	義澤 克彦 講師 (武庫川女子大学 生活環境学部)
	2-5 (1:00)	14:45 - 15:45	循環器毒性, 安全性薬理	田保 充康 講師 (中外製薬 研究本部 安全性研究部)
	2-6 (1:00)	15:55 - 16:55	皮膚・粘膜毒性, 光毒性, 代替試験法	小島 肇夫 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部)
	2-7 (1:00)	17:05 - 18:05	生殖発生毒性, 生殖器毒性, 内分泌毒性	古川 賢 講師 (日産化学 生物科学研究所)
8月7日 (水)	3-1 (1:00)	09:00 - 10:00	遺伝毒性	濱田 修一 講師 (LSI メディエンス 創薬支援事業本部)
	3-2 (1:00)	10:10 - 11:10	発がん性	魏 民 講師 (大阪市立大学大学院 医学研究科)
	3-3 (1:00)	11:20 - 12:20	環境毒性	石塚 真由美 講師 (北海道大学大学院 獣医学研究院)
	3-4 (0:45)	13:05 - 13:50	毒性オミクス	山田 弘 講師 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
	3-5 (1:15)	14:00 - 15:15	リスクアセスメント・ リスクマネジメント	小野 敦 講師 (岡山大学 医歯薬学総合研究科・薬学系)
	3-6 (0:45)	15:25 - 16:10	臨床中毒学	沼澤 聡 講師 (昭和大学 薬学部)
	3-7 (1:00)	16:20 - 17:20	統計学	渡邊 真弓 講師 (第一三共 安全性研究所)
		17:25	受講証明書授与	
資料のみ			化学物質の有害作用, 安全性評価・管理	斎藤 嘉朗 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部)

第46回日本毒性学会学術年会のご案内（第6報）

（年会ホームページ：<http://jsot2019.jp/>）

1. 会期

2019年6月26日（水）～6月28日（金）

2. 会場

アスティとくしま

〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍示1-1

URL：<http://www.asty-tokushima.jp>

※徳島駅前からシャトルバスがでます。詳細は年会ホームページをご覧ください。

3. テーマ

生命を守り、持続可能な環境・社会・産業の基盤となる毒性学

4. 年会長

姫野誠一郎（徳島文理大学 薬学部）

5. 企画委員（敬称略・五十音順）

青木 康展（国立環境研究所）

石塚真由美（北海道大学）

上原 孝（岡山大学）

小椋 康光（千葉大学）

鍛冶 利幸（東京理科大学）

菅野 純（日本バイオアッセイ研究センター）

北嶋 聡（国立医薬品食品衛生研究所）

小林 章男（日本たばこ産業（株））

佐藤 雅彦（愛知学院大学）

篠澤 忠紘（武田薬品工業（株））

鈴木 睦（協和発酵キリン（株））

高橋 祐次（国立医薬品食品衛生研究所）

苗代 一郎（医薬品医療機器総合機構）

中西 剛（岐阜薬科大学）

中村 和市（北里大学）

奈良岡 準（アステラス製薬（株））

西田 基宏（生理学研究所 / 九州大学）

平林 容子（国立医薬品食品衛生研究所）

広瀬 明彦（国立医薬品食品衛生研究所）

福井 英夫（Axcelead Drug Discovery Partners（株））

堀井 郁夫（ファイザー / 東京理科大学）

堀口 兵剛（北里大学）

松本 清（武田薬品工業（株））

山田 久陽（大正製薬（株））

横井 毅（名古屋大学）

吉田 緑（内閣府食品安全委員会）

吉成 浩一（静岡県立大学）

鰐淵 英機（大阪市立大学）

6. 特別企画（予定、敬称略）

1) 第17回市民公開セミナー

テーマ：「徳島の食と健康を考える」

日時：2019年6月29日（土）14：00～16：15

会場：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）

2) 年会長招待講演

(1) “Association of chronic arsenic exposure with the risk of diabetes and characteristic features of asthma”

Md Khaled Hossain

(Department of Biochemistry and Molecular Biology, University of Rajshahi, Bangladesh)

(2) “Role of amino acid metabolism and autophagy in chemical-induced abnormal lipid metabolism and fatty liver”

Byung-Hoon Lee

(College of Pharmacy, Seoul National University, Korea)

3) 特別講演

(1) “Predicting human liver toxicity using in vitro measures: Can past failures lead to future success?”

Leslie Z. Benet

(Department of Bioengineering and Therapeutic Sciences, Schools of Pharmacy and Medicine, University of California San Francisco, USA)

(2) “Safety assessment of central nervous system tumors in 2-year rat carcinogenicity studies”

Aida Sacaan (Pfizer, Inc., Drug Safety Research and Development, San Diego, USA)

(3) 日本免疫毒性学会合同講演

「金属アレルギー：金属イオンに対する免疫応答」

黒石 智誠

(東北大学大学院歯学研究科口腔生物学講座口腔分子制御学分野)

(4) 「ヒト成熟肝細胞のリプログラミングによる肝前駆細胞の作成と毒性研究への応用」

落谷 孝広（東京医科大学）

(5) 「OECD AOP プロジェクトにおける日本の対応」

小島 肇

(国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター)

4) 教育講演

- (1) 「環境医学におけるイオウ毒性学のニューパラダイム：イオウ医学生物学の黎明」
赤池 孝章
(東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野)
- (2) 「フェーズゼロ反応：活性イオウ分子を利用した化学物質の不活性化というパラダイムシフト」
熊谷 嘉人
(筑波大学医学医療系 環境生物学分野)
- (3) 「毒性学に新しい視点をもたらす血管の毒性学」
鍛冶 利幸
(東京理科大学薬学部環境健康学研究室)
- (4) 「日本にイノベーションのホットスポットを創る－湘南アイパークにおけるエコシステム構築の試み」
藤本 利夫
(武田薬品工業株式会社 湘南ヘルスイノベーションパーク)
- (5) 「リスクアナリシスに基づいた食品あるいは水中の化学物質のリスク評価」
吉田 緑 (内閣府食品安全委員会)

5) シンポジウム (28セッション)

- (1) 化学物質開発を促進するインシリコ毒性予測手法の開発
- (2) 化学発がんにおける遺伝毒性の関与を作用機序から考える：弱い遺伝毒性物質を中心として
- (3) 日本中毒学会合同シンポジウム：海産毒 リビジテッド
- (4) 心毒性研究の最前線
- (5) 種差を取り巻く医薬品の開発事例と新たな展開
- (6) ノンカーボン素材ナノマテリアルの有害性評価の現状と課題
- (7) ネオニコチノイド系殺虫剤と農薬の現状と今後の展望 ～毒性学・農学・行政の視点から～
- (8) 医薬品事例紹介：承認前に開発中止になったファシグリファムの非臨床試験成績
- (9) 医薬品の代替法によるヒト胎児毒性リスク評価戦略の最先端
- (10) 小児用医薬品開発における幼若動物を用いた安全性試験の現状と課題
- (11) 米から摂取するカドミウムとヒ素の摂取実態と健康影響、その対策
- (12) 規制薬物の毒性、動態と分析 up-to-date
- (13) 毒性エピゲノミクスの新潮流
- (14) 日本免疫毒性学会合同シンポジウム：免疫毒性研究のポテンシャル
- (15) DNA/RNA を標的とする医療技術の現状と安全性評価の考え方
- (16) テクノロジーとの新結合がもたらす先端安全性研究

- (17) 米国毒性学会合同シンポジウム：レギュラトリーの意志決定に対応する代替手法等の統合化戦略における日米の進展
- (18) 生殖毒性研究・評価の新機軸 ～生殖器官形成から生殖毒性学への新発展～
- (19) 日本毒性病理学会合同シンポジウム：毒性病理学会からのトピックス：新しい評価法への挑戦
- (20) オルガノイドを用いた in vitro 毒性評価法の応用性
- (21) AOPに基づく毒性作用機序
- (22) エピジェネティクス解析と人工知能による毒性オミクスの展開
- (23) 発がん性評価法の最新の展望
- (24) 次世代研究セミナー：新技術・新分野が生み出す毒性学の新たな可能性
- (25) 医薬品開発における非臨床からの毒性・副作用予測 (その確からしさと限界について)
- (26) 幹細胞分化から見る子どもの毒性学：シグナル毒性としての中枢神経影響の評価の現状
- (27) 日本における食品のリスク評価は進化したか？
- (28) ニューロジックの動態制御破綻からみた神経変性疾患研究の新展開

6) ワークショップ (8セッション)

- (1) 医薬品製造現場における安全性確保 ～トキシコロジストだからできる職業曝露限度値設定～
- (2) 大動物を用いた安全性評価の重要性
- (3) データサイエンスと行動解析技術の融合と展望
- (4) キャリア形成支援：トキシコロジストの活躍：キャリアパスのボーダーレス化を知る
- (5) 非臨床安全性試験におけるマイクロサンプリングの実際 (GLP 毒性試験に導入した場合の課題・事例・Q & A)
- (6) トランスレーショナルリサーチとしての臨床検査 ～臨床・非臨床における基礎知識～
- (7) 新規ヒト肝細胞資源を用いた安全性評価の新展開
- (8) 金属 (類) の血管毒性

7. 一般演題

- 1) 一般演題は口演またはポスター発表とします。口演の発表時間は8分、討論4分の12分です。発表方法はPCプレゼンテーション (プロジェクター1面映写) のみです。ポスター発表は、毎日貼替えでポスター展示を行い、途中で質疑応答時間を設けます。

◆ポスター発表 質疑・応答 (コアタイム)

6月26日(水) 16:45 ~ 17:45
 6月27日(木) 17:10 ~ 17:55
 6月28日(金) 13:15 ~ 14:00

日本免疫毒性学会
 日本薬理学会
 米国 SOT (Society of Toxicology)

ポスターは縦 180cm, 横 90cm 以下のサイズで
 作成して下さい。
 詳細は年会ホームページに掲載しております。

2) 優秀研究発表賞

応募者はポスター発表に加え, 別会場で口頭発表
 (4分)と質疑応答(2分)を第1日目(6月26日(水))
 に行っていただきます。発表データ(PowerPoint)
 は, 年会当日受付いたします。受賞者の発表は,
 第2日目(6月27日(木) 13:00 ~ 13:30)に
 行います。授賞式は, 懇親会(受賞者本人は無料
 招待)において行います。受賞者には, 賞状と副
 賞を授与します。

3) 学生ポスター発表賞

審査はポスター発表内容のみで行います。対象
 のポスターは第1日目(6月26日(水))に掲
 示し, 受賞者の発表は, 第2日目(6月27日(木))
 11:00頃)に行います。授賞式は, 懇親会(受
 賞者本人は無料招待)において行います。受賞
 者には, 賞状と副賞を授与します。

8. 当日参加登録

当日参加の受付は, アスティとくしま 1F エント
 ランスホールの当日受付デスクで行って下さい。

参加費 (当日受付)

※ 学会会員の参加費は「不課税」, 関連学会会員,
 非会員の参加費と懇親会費は「課税(消費税込)」
 となります。

会 員	13,000 円
学生会員	4,000 円
* 関連学会会員	14,000 円
非 会 員	16,000 円
懇親会 (一般)	11,000 円
懇親会 (学生)	5,000 円

*は次の学会会員の方です。(50音順)

共催: 日本中毒学会
 日本毒性病理学会

協賛: 日本安全性薬理研究会

日本医薬品情報学会
 日本衛生学会
 日本環境変異原学会
 日本産業衛生学会
 日本実験動物学会
 日本獣医学会
 日本先天異常学会
 日本動物実験代替法学会
 環境ホルモン学会(日本内分泌攪乱化学物質学会)
 日本薬学会
 日本薬物動態学会

9. 懇親会

次の通り懇親会を開催いたしますので, 是非ご参
 加下さい。

日時: 2019年6月27日(木) 18:45より
 場所: JR ホテルクレメント徳島 4F 「クレメントホール」
 URL: <https://www.jrclement.co.jp/tokushima/>
 ※年会会場からシャトルバスがでます。詳細は
 年会ホームページをご覧ください。

10. 託児所

アスティとくしまに「こども室」という託児所機
 能があり, 学会参加者も無料で利用できます。

利用の申込みについては, 直接「こども室」にお
 問い合わせ下さい(電話: 088-655-4638)

注1) 利用可能時間は, 6/26 ~ 6/28のみ
 8:30 ~ 18:00 となります。

注2) 年齢, 人数, その他の詳細な条件を伝える
 必要があります。

注3) 保育士の人数に限りがありますので, 先着順
 となります。

11. 年会事務局

〒770-8514 徳島県徳島市山城町西浜傍示 180
 徳島文理大学薬学部衛生化学講座
 事務局長: 角 大悟
 事務局次長: 藤代 瞳
 TEL: 088-602-8459 or 8460 FAX: 088-655-3051
 E-mail: secretariat@jsot2019.jp

第 45 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について

第 45 回日本毒性学会学術年会の要旨集を 1 部 3,500 円（税・送料込）で販売します。ご希望の方は郵便局に備付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、下記口座までお振り込み下さい。ご納入確認後、要旨集を発送致します。

なお、学術年会（第 32 回以降）の要旨はオンライン（J-STAGE）でも閲覧が可能です（<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/toxp/-char/ja>）。

振込先：口座番号	00150-9-426831
加入者名	一般社団法人日本毒性学会
要旨集価格	3,500 円（1 部）

通信欄記入事項：①住所 ②氏名（団体の場合は機関名・部署等）③電話番号
④第 45 回学術年会要旨集希望の旨

※通信欄のご記入住所へ送本致します。詳細なご記入をお願い致します。

問い合わせ先：日本毒性学会事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル
株式会社毎日学術フォーラム内
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555
E-mail：jsothq@jsot.jp

その他のお知らせ

第 59 回日本臨床化学会年次学術集会

学術集会長 眞野 成康 (東北大学病院 教授・薬剤部長)
副学術集会長 藤巻 慎一 (東北大学病院 検査部・臨床検査技師長)

会 期 2019 年 9 月 27 日 (金) ~ 29 日 (日)
会 場 仙台国際センター
(〒 980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山)
学会ホームページ <http://site2.convention.co.jp/jsc59/>

テーマ 「未来型医療」を創造する臨床化学

特別講演 1

前川 真人 先生
(浜松医科大学 医学部 臨床検査医学講座)
「臨床化学の進む道」

特別講演 2

出澤 真理 先生
(東北大学 大学院医学系研究科 細胞組織学分野)
「Muse 細胞のもたらす医療ルネッサンスの可能性」

参加費

一般参加者：10,000 円
学生 (大学院生・専門学校生・短期大学生・学部生)：
3,000 円 (学生証提示)

演題募集

全てオンライン登録のみとなります。
一般演題募集期間：2019 年 2 月 5 日 (火)
~ 2019 年 4 月 25 日 (木) を予定
ポスターによる発表としますが、特に優秀と思われる演題
について口演をお願いする予定です。

年次学術集会懇親会

9 月 28 日 (土) 19 時 00 分~
会 場：ホテルメトロポリタン仙台
(〒 980-8477 宮城県仙台市青葉区中央 1-1-1)
参加費：一般参加者 3,000 円, 学生 1,000 円

問合先

第 59 回日本臨床化学会年次学術集会 運営事務局
日本コンベンションサービス株式会社東北支社
〒 980-0824 宮城県仙台市青葉区支倉町 4-34 丸金ビル 6 階
TEL : 022-722-1311 FAX : 022-722-1178
Mail : jsc59@convention.co.jp

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ (http://www.jsot.jp/about/rule_list.html) に掲載されています。

特に重要な変更があった場合は、毒性学ニュースで周知を図ることとします。

- 一般社団法人日本毒性学会 定款
- 一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程
- 一般社団法人日本毒性学会 入会規程
- 一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 佐藤哲男記念賞（学術貢献賞）選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 日化協 LRI 賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程
- J. Toxicol. Sci. 投稿規程
- Fundam. Toxicol. Sci. 投稿規程
- 一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針
- 一般社団法人日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針
- 一般社団法人日本毒性学会 部会に関する規程

マイクロバイオーム研究の 受託業務



マイクロバイオームを持たない無菌動物、単離菌または複数の既知の菌株を定着させたノトバイオート動物や細菌叢を定着させた動物を一定期間飼育環境を維持するためにはビニールアイソレータ(VI)を使用することが最適です。当社では長年の経験で得た無菌動物生産技術をもとにマイクロバイオームの研究支援を行ないます。

● 無菌動物

無菌マウスを常時生産しております。

MCH(ICR)[Gf]・C57BL/6N[Gf]
BALB/cA[Gf]・IQL[Gf]

● ノトバイオート作製

無菌マウスに単独あるいは複数の腸内細菌を移植します。必要に応じて定着を確認します。疾患モデルマウスの腸内細菌や、ヒト糞便の移植も可能です。また、お手持ちの遺伝子改変マウスを無菌化した後、特定の腸内細菌を移植し管理することも可能です。

● ノトバイオート化マウスを使った受託試験

シングルノトバイオートマウスや、ヒト糞便移植叢を移植したマウスを使った試験を受託致します。各種データ採取についても、お問合せください。実施場所は、川崎市または富士宮市の当社施設(実験室を併設)を使用します。

※ヒト糞便移植実験は、川崎施設を利用。

● 研究を支える動物管理技術

In Vivoマイクロバイオーム研究では、微生物学的制御が可能なビニールアイソレータ(VI)を使用します。これはヒトから動物への感染の防御とともに、移植された細菌からのヒトへの防御にもつながります。また、長期に亘る腸内細菌叢の維持が可能です。

オプション

- 糞便のT-RFLP解析による腸内細菌叢解析、菌叢比較解析、有機酸分析、腐敗産物分析、アンモニア分析、ph、微生物定量分析(リアルタイムPCR法)
- 移植細菌の定着確認(PCR)
- 血液生化学データ、病理組織作成、採材
- 薬物の経時的投与、定期糞便採取
- Tg、KOマウスの無菌化
- ヒト糞便移植
- 特殊飼料給餌試験

※移植細菌(叢)は研究者側にてご用意ください。



 **日本クリア株式会社**

<http://www.CLEA-Japan.com>

受注センター TEL.03-5704-7123 FAX.03-3792-2368

東京AD部 TEL.03-5704-7050 FAX.03-3792-2032
大阪AD部 TEL.06-4861-7101 FAX.06-4861-7108

仙台出張所 TEL.022-352-4417 FAX.022-352-4419
札幌出張所 TEL.011-631-2725 FAX.011-644-9209

医薬品開発をトータルにサポート

基礎検討試験

前臨床試験

臨床試験

薬物動態試験

- High Quality -

高品質なデータの提供

- Globalization -

グローバルな事業展開

- Prompt Response -

迅速なサービスの提供

充実した支援体制

- AAALAC International（国際実験動物ケア評価認証協会）認証
- FDA IND/NDA電子化申請対応（CDISC SEND）
- バーコードによるミス防止システム
- 世界中どこからでも閲覧可能



Leica Aperio AT2



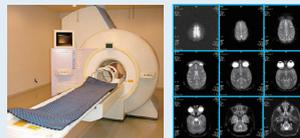
カニクイザル眼球HE染色

最新機種の導入

- Erenna Immunoassay System(EMD Millipore)



- MRI



Siemens Allegra 3.0T

カニクイザル頭部 (T2WI)

- qPCR



ABI 7500 Fast

お問い合わせ先

株式会社新日本科学

<https://www.snbl.co.jp/>

Email: info@snbl.co.jp

TEL: 03-5565-6140

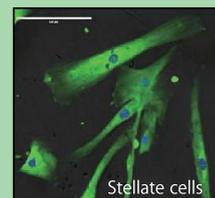
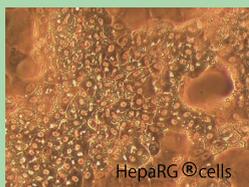


HepaRG®・初代肝細胞



- HepaRG® 凍結バイアル
- HepaRG® 増殖培養キット
- HepaRG® プレート播種タイプ
- CYP3A4G/7R HepaRG®
 - CYP3A4の発現を緑色蛍光で検出可能
 - 鳥取大学が開発 (WO2014061829A1; 薬物代謝酵素誘導および細胞毒性の評価方法、ならびにそのためのベクターおよび細胞)

- ヒト凍結肝細胞
 - 接着 / 非接着 / スフェロイド培養用
- アニマル凍結肝細胞
 - 動物種：マウス、ラット、イヌ、サル
- ヒト凍結非実質肝細胞、星細胞等
- ヒト非凍結肝細胞 (プレート播種タイプ)



受託試験

- 薬物相互作用評価試験
- 肝毒性評価試験
- 腎毒性評価試験



発生毒性評価キット POCA® Hand1-EST

<製品概要>

POCA® Hand1*-ESTは、心筋分化関連遺伝子のモニターにより発生毒性(催奇形性)をin vitroで評価するEST(Embryonic Stem Cell Test)キットです。 *Hand1：胎生期の左心室、右心室に優位に発現する発生に関与する転写因子



【製品特長】

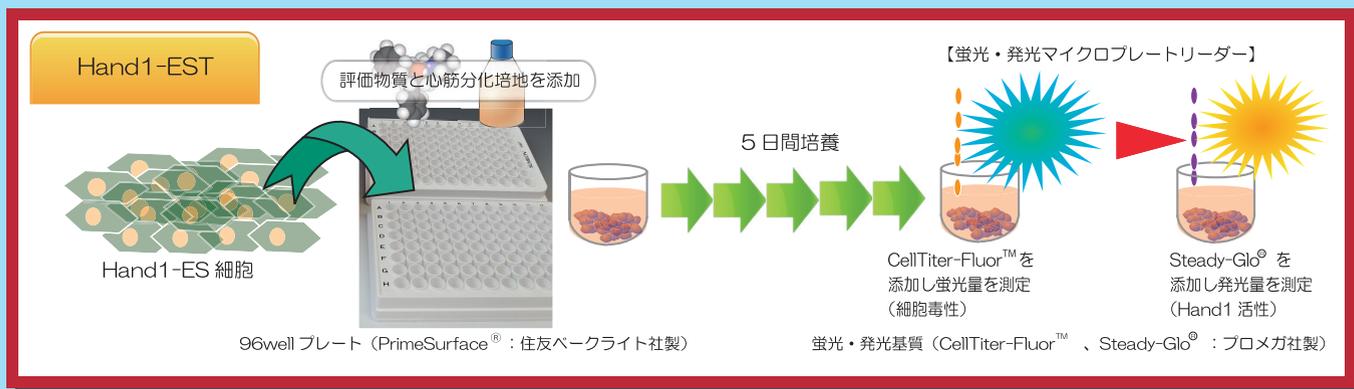
- ✓ 蛍光・発光法による定量的な毒性評価が可能
- ✓ 従来のEST (Embryonic Stem Cell Test) 試験と比較し簡便
- ✓ 化合物のスクリーニング試験に最適

【キット構成】

- Hand1-ES細胞 (1 vial)
- 末分化維持培地 (30mL×1)
- 心筋分化培地 (200mL×1)
- 解析ソフト

※写真のホワイトプレートはキットに含まれません。

項目	EST 法 (Original)	Hand1-EST
試験日数	10 日間	5 日間
分化評価	拍動 (目視)	Luciferase 活性
必要化合物	500mg 以上	5 ~ 50mg
測定装置	顕微鏡	蛍光・発光リーダー
処理能力	低	高



●本キットご使用に関しましては別途ライセンス契約が必要です。詳細につきましてはお問い合わせください。
 ●本キット中の Hand1-ES 細胞のご使用に際し Promega 社のライセンスプログラムをご確認頂く必要があります。ライセンスプログラムに関しては www.promega.co.jp/license/ をご覧ください。

細胞、組織、微生物株、培養試薬、研究用試薬等を取り扱っております。



株式会社 ケーエーシー

<お問い合わせ先>
 TEL:06-6435-9747 FAX:06-6435-9748
 E-mail: shiyaku-info@kacnet.co.jp

会社HP: <http://www.kacnet.co.jp/>
 細胞検索サイト「細胞.jp」: <http://www.saibou.jp/>

細胞.jp 製品の在庫・価格等を検索可能!

SLCの実験動物



マウス

●アウトブリード

Slc : ddY
NCS

●インブリード

DBA/1JmsSlc(コラーゲン誘導関節炎)
BALB/cCrSlc
C57BL/6NcrSlc・C57BL/6JmsSlc
C3H/HeSlc
DBA/2CrSlc
NZW/NSlc
A/JmsSlc
AKR/NSlc
NC/NgaSlc(薬物・アレルギー誘導アトピー性皮膚炎)
CBA/NSlc
C3H/HeNSlc
C3H/HeYokSlc

●B10コンジェニック

129x1/SvJmsSlc
C57BL/10SnSlc
B10.A/SgSnSlc・B10.BR/SgSnSlc
B10.D2/nSnSlc・B10.MBR/Slc
B10.QBR/SxSlc・B10.S/SgSlc

●ハイブリッド

B6D2F1/Slc(Slc:BDF1)
CB6F1/Slc(Slc:CBF1)
CD2F1/Slc(Slc:CDF1)

●ヌードマウス(ミュタント系)

BALB/cSlc-*nu*(*Foxn1nu*)
KSN/Slc(*Foxn1nu*)

●疾患モデル

BXSB/MpJmsSlc-*Yaa*(自己免疫疾患)
C3H/HeJmsSlc-*gld*(自己免疫疾患-*Fas1^{gld}*)
C3H/HeJmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas1^{lpr}*)
C57BL/6JSlc-*gld*(自己免疫疾患-*Fas1^{gld}*)
C57BL/6JmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas1^{lpr}*)
MRL/MpJmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas1^{lpr}*)
NZB/NSlc(自己免疫疾患)

* NZBWF1/Slc(自己免疫疾患)
CTS/Shi(免疫不全・白内障)
* WBB6F1/Kiit-Kiit^W/Kiit^W/Slc(肥満細胞欠損血・Kiit^W/Kiit^W)
* WBB6F1/Kiit-Kiit^W/Kiit^W/Slc(肥満細胞欠損血・Kiit^W/Kiit^W)
NC/Nga(皮膚炎)
☆ Hos:HR-1(ヘアレスマウス)
☆ HRM2(メラニン保有ヘアレスマウス)
SAMR1/TaSlc(非胸腺リンパ腫・SAM系対照動物)
SAMP1/SkuSlc(老化アミロイド症)
SAMP6/TaSlc(老年性骨粗鬆症)
SAMP8/TaSlc(学習・記憶障害)
SAMP10/TaSlc(脳萎縮を伴う学習・記憶障害)
AKITA/Slc(糖尿病)
☆ TSOD(2型糖尿病)
C57BL/6JHamSlc-*ob/ob*(肥満・2型糖尿病-*Lepr^{ob}*)
☆ C57BLKS/Jlar-*Lepr^{ob}*+*Lepr^{ob}*(肥満・2型糖尿病-*Lepr^{ob}*)
☆ NSY/Hos(2型糖尿病)
C57BL/6JHamSlc-A¹/+(肥満)
HIGA/NscSlc(IgA腎症)
C.KOR/StmSlc-*Traf3ip2^{shn}*(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2^{shn}*)
B6.KOR/StmSlc-*Traf3ip2^{shn}*(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2^{shn}*)
A.KOR/StmSlc-*Traf3ip2^{shn}*(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2^{shn}*)
AK.KOR/StmSlc-*Traf3ip2^{shn}*(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2^{shn}*)
(NZW × BXSB)/F1/Slc(血小板減少性紫斑病)
C57BL/6HamSlc-*bg/bg*(NK細胞活性低下)

ラット

●アウトブリード

Slc : SD
Slc : Wistar
Slc : Wistar/ST
Hos : Donryu

☆ lar : Wistar (Wistar-Imamichi)

☆ lar : Long-Evans

☆ lar : Copenhagen (前立腺腫瘍継代)

●インブリード

F344/NSlc
WKAH/HkmSlc
BN/SsNSlc
DA/Slc(薬物誘導性関節炎)

LEW/SsNSlc(薬物誘導性関節炎)
ACI/NSlc
PVG/SeaSlc

●疾患モデル

SHR/Izm(高血圧)
SHRSP/Izm(脳卒中)
WKY/Izm(SHR/Izmのコントロール)
SHRSP5/Dmcr(NASHモデル)
DIS/EisSlc(食塩感受性高血圧症)
DIR/EisSlc(食塩抵抗性)
DahS.Z-*Lepr^{ob}*/Slc
KDP(1型糖尿病-*Cblb*)
GK/Slc(2型糖尿病)
WBN/KobSlc(高血糖好発)
WBN/KobSlc-*fa/fa*(高血糖好発-*Lepr^{ob}*)
SHR/NDmcr-*cp/cp*(肥満・糖尿・高血圧-*Lepr^{ob}*)
SHRSP/IDmcr-*fa/fa*(肥満・高血圧・脳血管障害-*Lepr^{ob}*)
Slc:Zucker-*fa/fa*(肥満-*Lepr^{ob}*)
☆ Hos:ZFDm-*Lepr^{ob}*(糖尿・肥満)
HWY/Slc(ヘアレスラット)
F344/NSlc-*Apc^{mt50}*(大腸癌易誘発)
EHBR/EisSlc(高ビリルビン血症)
Gunn/Slc-*jjj*(高ビリルビン血症)
NAR/Slc(無アルブミン症)
SDR(球小体神経ラット)
Slc:WsRC-Ws/Ws(肥満細胞欠損血・c-kit異常-*Kiit^W*)
☆ DA/Slc-*bg/bg*(NK細胞機能低下)
☆ OM/NSlc(栄養関係・腎障害)
☆ FH/HamSlc(脳内セロトニン系の機能不全)

モルモット/ウサギ/ハムスター/スナネズミ

●アウトブリード モルモット

Slc : Hartley
Hos : Weiser-Maples(メラニン保有)

●インブリード モルモット

* Strain2/Slc
* Strain13/Slc

●アウトブリードウサギ

Slc : JW/CSK
Slc : NZW
* Slc : JWF-NIBS(ヘアレス)

●ハムスター

Slc : Syrian
* J2N-k(心筋症モデル)
* J2N-n(J2N-kのコントロール)

●スナネズミ

MON/Jms/GbsSlc

無菌動物

F344/NSlc[GF]

遺伝子改変動物

●マウス

C57BL/6-Tg(CAG-EGFP)(グリーンマウス)
C57BL/6JmsSlc-Tg(*gpt* delta)

●ヌードマウス

C57BL/6-BALB/c-*nu/nu*-EGFP(EGFP全身発現ヌードマウス)

●ラット

SD-Tg(CAG-EGFP)(グリーンラット)
F344/NSlc-Tg(*gpt* delta)
Slc:WistarHannover/Rcc-Tg(*gpt* delta)

conventional動物

●ビーグル犬

☆国内繁殖生産(一財)動物繁殖研究所

●カニクイザル

☆ベトナム繁殖生産サル(VANNY)

●ミニブタ

☆国内繁殖生産
(一財)日生研-NPO法人医用ミニブタ研究所

●マイクロミニブタ

☆国内繁殖生産(富士マイクラ)

●フェレット

国内繁殖生産(中伊豆支所)

*印は受託生産動物、☆印は仕入販売動物です。



日本エス エル シー株式会社
〒431-1103 静岡県浜松市西区湖東町3371-8
TEL(053)486-3178(代) FAX(053)486-3156
<http://www.jslc.co.jp/>

営業専用
TEL

関東エリア (053)486-3155(代)
関西エリア (053)486-3157(代)
九州エリア (0942)41-1656(代)

一般社団法人 日本毒性学会

【名誉会員】

今道 友則	堀口 俊一	福田 英臣	池田 正之
加藤 隆一	白須 泰彦	黒岩 幸雄	井村 伸正
佐藤 哲男	渡辺 民朗	高橋 道人	榎本 眞
小野寺 威	遠藤 仁	菅野 盛夫	黒川 雄二
鎌滝 哲也	赤堀 文昭	土井 邦雄	長尾 拓
福島 昭治	津田 修治	吉田 武美	堀井 郁夫
大野 泰雄			

【功労会員】

高仲 正	前川 昭彦	佐藤 温重	安田 峯生
菊池 康基	田中 悟	大沢 基保	今井 清
降矢 強	玄番 宗一	唐木 英明	仮家 公夫
暮部 勝	野村 護	牧 栄二	山添 康
上野 光一	三森 国敏	佐神 文郎	遠山 千春

【賛助会員】

●ダイヤモンド
 (株)新日本科学

●ゴールド

旭化成ファーマ(株)	味の素製薬(株)
あすか製薬(株)	アステラス製薬(株)
(株)安評センター	(株)イナリサーチ
エーザイ(株)	(株)LSIメディエンス
大塚製薬(株)	小野薬品工業(株)
杏林製薬(株)	協和発酵キリン(株)
興和(株)	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
(株)三和化学研究所	塩野義製薬(株)
昭和電工株式会社	(一財)生物科学安全研究所
ゼリア新薬工業(株)	千寿製薬株式会社
第一三共(株)	大正製薬(株)
大日本住友製薬(株)	大鵬薬品工業(株)
武田薬品工業(株)	田辺三菱製薬(株)
中外製薬(株)	帝人ファーマ(株)
(株)DIMS 医科学研究所	トーアエイヨー(株)
東レ(株)	(一社)日本化学工業協会
日本香料工業会	日本新薬(株)
ファイザー(株)	(株)ボソリサーチセンター
Meiji Seika ファルマ(株)	持田製薬(株)
ライオン(株)	

【役員】(2018～2019年度)

理事長	熊谷 嘉人	小川久美子	小椋 康光
理事	青木 豊彦	菅野 純	北嶋 聡
	鍛冶 利幸	鈴木 睦	高崎 渉
	小林 章男	鈴木 睦	高崎 渉
	角崎 英志	苗代 一郎	永沼 章
	広瀬 明彦	福井 英夫	藤原 泰之
	三浦 伸彦	宮脇 出	山田 久陽
	吉成 浩一		
監事	中村 和市		
	姫野誠一郎		

【学術年会長】

第46回 (2019年) 姫野誠一郎
 第47回 (2020年) 広瀬 明彦
 第48回 (2021年) 福井 英夫

【委員会】(2018～2019年度)

●総務委員会

◆連携小委員会

◆評議員選考小委員会

◆名誉会員および功労会員選考小委員会

◆指針値検討小委員会

●財務委員会

●編集委員会

◆JTS 編集委員会

◆FTS 編集委員会

◆Executive Editor 小委員会

◆田邊賞選考小委員会

●教育委員会

◆生涯教育小委員会

◆基礎講習会小委員会

◆認定試験小委員会

●学術広報委員会

◆学会賞等選考小委員会

◆特別賞等選考小委員会

◆技術賞選考小委員会

◆日化協 LRI 賞選考小委員会

◆学術小委員会

◆広報小委員会

★その他関連の委員会

○IUTOX President
 ○ASIATOX 担当

●印：常置委員会 ◆印：小委員会

広瀬 明彦	(委員長)		
青木 豊彦	小椋 康光	鍛冶 利幸	
熊谷 嘉人	鈴木 睦	永沼 章	
菅野 純	(委員長)		
小川久美子	北嶋 聡	中村 和市	
広瀬 明彦	山田 久陽		
佐藤 雅彦	(委員長)		
小林 章男	苗代 一郎	藤原 泰之	
三浦 伸彦			
広瀬 明彦	(委員長)		
(委員非公開)			
広瀬 明彦	(委員長)		
市原 学	北嶋 聡	渋谷 淳	
古川 賢	三島 雅之		
青木 豊彦	(委員長)		
小川久美子	福井 英夫	藤原 泰之	
鍛冶 利幸	(委員長)		
青木 康展	阿部(富澤)香織	有蘭 幸司	
市原 学	熊谷 嘉人	佐藤 雅彦	
渋谷 淳	神野 透人	鈴木 雅実	
曾根 秀子	中川 一平	永沼 章	
中村 和市	沼澤 聡	福島 民雄	
藤原 泰之	務台 衛	山田 久陽	
山手 丈至	山本 千夏	吉成 浩一	
鍛冶 利幸	(委員長)		
永沼 章	(委員長)		
永沼 章	(委員長)		
中川 一平	(副委員長以下非公開)		
鈴木 睦	(委員長)		
高崎 渉	古川 賢		
鈴木 睦	(委員長)		
五十嵐勝秀	石塚真由美	於勢 佳子	
真田 尚和	姫野誠一郎	義澤 克彦	
高崎 渉	(委員長)		
小野寺博志	(副委員長)		
朝倉 省二	桑原 正貴	橋本 清弘	
古川 賢	和久井 信		
古川 賢	(委員長)		
(副委員長以下非公開)			
小椋 康光	(委員長)		
永沼 章	(委員長)		
(委員非公開)			
小椋 康光	(委員長)		
(委員非公開)			
清水 俊敦	(委員長)		
(委員非公開)			
北嶋 聡	(委員長)		
(委員非公開)			
山田 久陽	(委員長)		
天野 幸紀	石塚真由美	高崎 渉	
高橋 祐次	藤原 泰之	吉成 浩一	
久田 茂	(委員長)		
児玉 晃孝	(副委員長)		
橋本 愛			
菅野 純			
佐藤 雅彦			

2019年 6月1日 印刷

2019年 6月1日 発行

発行人 熊谷 嘉人

編集人 鍛冶 利幸

発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム

一般社団法人日本毒性学会事務局

TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555

E-mail : jsothq@jsot.jp

振替 00150-9-426831

<http://www.jsot.jp>

印刷所 株式会社仙台共同印刷

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2

TEL (022) 236-7161